

阿賀野川 えとこだより

aganogawa E-toko dayori



ここにあるすべてが、
かけがえのない「宝もん」。

「雪晴の麒麟山」(津川 2月) 撮影:山口冬人(NPP新潟県写真家協会理事)

もくじ

歴史の光と影を学ぶ舞台、阿賀野川流域地域。

新潟水俣病を
未来へ伝えるために。

美しく、自然の恵みに満ちた阿賀野川。長い歴史の中、人々はこの流域で自然とともに暮らし、豊かな文化を育み紡いできました。しかしまた一方、そうした営みの中では「新潟水俣病」の発生というつらい出来事もありました。

「阿賀野川えとこだプロジェクト」(F M事業)は、過去と向き合い学ぶことで地域の絆や自然との共生を紡ぎ直し、よりよい未来を住民の皆さんとともにつくっていくこととする取り組みです。負の側面から語られることの多い「新潟水俣病」も、現在、そして未来へ伝えていくために、ここでなければ学ぶことのできない教訓として、とらえ直したいと考えています。

阿賀野川流域地域は「宝もん」がたくさん詰まった「えとこだ」。そんな思いを胸に、F M事業はさまざまな活動に取り組みます。多くの皆さんと出会い、語りあいたいと心から願っています。

総合プロデューサー 小川弘幸

特集「無類の宝山」

草倉銅山が残したもの

パネル展「草倉銅山の光と影」

草倉銅山ツアーを開催

草倉銅山パネル巡回展こぼれ話

紙芝居「草倉銅山物語」絶賛上演中！

「阿賀野川えとこだ！環境学習」

プロジェクトはじまる！

ロバダンしませんか？

お知らせ

2

3

4

5

6

7

8